

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2005-522210(P2005-522210A)

【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2003-583334(P2003-583334)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

C 0 7 K 14/035 (2006.01)

C 0 7 K 16/08 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/22

C 0 7 K 14/035

C 0 7 K 16/08

C 0 7 K 19/00

C 1 2 P 21/08

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/53 N

G 0 1 N 33/569 J

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/22

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月12日(2006.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

H S V 抗原の少なくとも免疫原性部分を含む単離されたポリペプチドであって、ここで、該抗原が、以下、

配列番号 161、74～75、90～97、120～121、122～140、142～143、153～160、162～178、181、195～205、215～216、227～239、241、243、248～250、253～254 および 255～267 の任意の一つに示されるアミノ酸配列を含む、ポリペプチド。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の単離されたポリヌクレオチドであって、ここで、該ポリヌクレオチドが、以下：

配列番号 152、65～73、76～89、98～117、118～119、141、144～151、179～180、182～183、184～194、206～210、213～214、217～226、240、242、244～247 および 251～252 の任意の一つに示される配列を含む、ポリヌクレオチド。

【請求項 4】

H S V U L 19 抗原の少なくとも免疫原生部分を含む単離されたポリペプチドであって、ここで、該抗原が、配列番号 212 に示されるアミノ酸配列を含む、ポリペプチド。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のポリペプチドおよび融合パートナーを含む融合タンパク質。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の融合タンパク質であって、ここで、前記融合パートナーが、該融合タンパク質をコードするポリヌクレオチドでトランスフェクトさせた宿主細胞中で、該融合タンパク質の発現を増加する発現エンハンサーを含む、融合タンパク質。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の融合タンパク質であって、ここで、該融合パートナーが、請求項 1 に記載のポリペプチド内に存在しない T ヘルパーエпитープを含む、融合タンパク質。

【請求項 8】

前記融合パートナーが、アフィニティタグを含む、請求項 5 に記載の融合タンパク質。

【請求項 9】

請求項 5 に記載の融合タンパク質をコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のポリペプチドに特異的に結合する、単離されたモノクローナル抗体もしくはポリクローナル抗体または抗原の結合するそれらのフラグメント。

【請求項 11】

請求項 1 に記載のポリペプチドまたは該ポリペプチドをコードするポリヌクレオチドおよび生理学的に受容可能なキャリアを含有する、薬学的組成物。

【請求項 12】

請求項 1 に記載のポリペプチドまたは該ポリペプチドをコードするポリヌクレオチドおよび免疫賦活剤を含有する、薬学的組成物。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の薬学的組成物であって、ここで、前記免疫賦活剤がモノホスホリル脂質 A、リン酸アミノアルキルグルコサミニド、サポニンまたはこれらの組合せからなる群から選択される、薬学的組成物。

【請求項 14】

患者の免疫応答を刺激するための組成物であって、該組成物が請求項 11～13 のいずれか一つに記載の薬学的組成物を含む、組成物。

【請求項 15】

患者の H S V 感染を検出するための方法であって、以下

( a ) 前記患者から入手した生物学的サンプルを請求項 1 に記載のポリペプチドと接触させる工程；および

( b ) 該ポリペプチドに結合する抗体の存在を検出する工程

を包含する、方法。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の方法であって、ここで、前記生物学的サンプルが全血、血清、血漿、唾液、脳脊髄液および尿からなる群から選択される、方法。

【請求項 17】

生物学的サンプルにおいて、HSV 感染を検出するための方法であって、以下：

(a) 該生物学的サンプルを、請求項 1 に記載のポリペプチドに結合し得る結合物質と接触させる工程、および

(b) 該結合物質に結合するポリペプチドをサンプル中で検出し、それによって、該生物学的サンプル中で HSV 感染を検出する工程

を包含する、方法。

【請求項 18】

前記結合物質がモノクローナル抗体である、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記結合物質がポリクローナル抗体である、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 20】

前記生物学的サンプルが、全血、痰、血清、血漿、唾液、脳脊髄液および尿からなる群から選択される、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 21】

診断キットであって、以下：

(a) 請求項 1 に記載のポリペプチド；

(b) 請求項 5 に記載の融合タンパク質；

(c) 少なくとも一つの、請求項 10 に記載の抗体または抗原の結合する該抗体のフラグメント；および

(d) 検出試薬

からなる群から選択される構成要素を備える、診断キット。

【請求項 22】

前記ポリペプチドが固体支持体上に固定される、請求項 21 に記載のキット。

【請求項 23】

前記検出試薬が結合物質に結合したレポーター群を含有する、請求項 21 に記載のキット。

【請求項 24】

前記結合物質が、抗免疫グロブリン、プロテイン G、プロテイン A およびレクチンからなる群から選択される、請求項 23 に記載のキット。

【請求項 25】

前記レポーター群が、放射性同位元素、蛍光基、発光基、酵素、ビオチンおよび色素粒子からなる群から選択される、請求項 23 に記載のキット。